

第32回全日本実業団選手権(男子の部)

本田技研鈴鹿が初優勝を飾る

第32回全日本実業団選手権男子の部は、5月17日から19日までの3日間、大阪市中央体育館に12チームが集合して熱戦を展開した。今大会V3を目指した湧永製薬が準決勝で敗退、本田技研鈴鹿が決勝で大同特殊鋼を降して初優勝を飾った。



本田技研鈴鹿が大同特殊鋼を破り初優勝

▼1回戦

本田技研 熊本 19	6 8	13 6	17 11	16 6	16 6	14 9
トヨタ 車体	14	17	17	17	15	15

三陽商会 33

13	16	17	16	14	16	14
6	11	6	6	9	6	3

日新製鋼 30

15	13	16	17	16	14	14
3	8	6	6	9	6	3

中村荷役 29

17	12	17	12	17	12	17
9	9	9	9	9	9	9

トヨタ自動車

▼2回戦

湧永製薬 33	14	19	14	19	14	14
本田技研 熊本	7	7	7	7	7	7

大崎電気 22

10	12	14	13	14	13	14
8	7	8	6	6	6	6

本田技研 18

11	7	11	7	11	7	11
7	6	7	6	7	6	7

▼準決勝

大崎電気 22	10	12	14	13	14	14
本田技研 18	7	6	8	7	8	7

大同特殊鋼 27

11	16	11	16	11	16	11
13	8	13	8	13	8	13

湧永製薬 21

本田技研 15

4	11	4	11	4	11	4
5	9	5	9	5	9	5

大崎電気 14

▼順位決定予備戦

三景 20	12	8	12	8	12	8
トヨタ 車体	5	6	5	6	5	6

日新製鋼 29

15	14	15	14	15	14	15
10	5	10	5	10	5	10

本田技研 15

15	11	15	11	15	11	15
7	9	7	9	7	9	7

▼11位決定戦

トヨタ 自動車 27	11	16	11	16	11	16
10	5	10	5	10	5	10

15 日本電装

▼9位決定戦

トヨタ 自動車 26	11	15	11	15	11	15
10	7	10	7	10	7	10

17 三景

▼7位決定戦

三陽商会 23	9	14	9	14	9	14
9	10	9	10	9	10	9

本田技研 19

▼5位決定戦

日新製鋼 18	13	5	13	5	13	5
10	7	10	7	10	7	10

中村荷役 17

▼3位決定戦

日新製鋼 18	13	5	13	5	13	5
10	7	10	7	10	7	10

中村荷役 17

大崎電気 20

12	8	12	8	12	8	12
10	6	10	6	10	6	10

湧永製薬 16

▼決勝

本田技研 25	13	12	13	12	13	12
9	3	9	3	9	3	9

大同特殊鋼 12

【戦評】前半立ち上がり、本田が福村のシュートで先制する。その後、内藤の速攻で2点目をあげ、本田が優位に試合を進める。この大会6年ぶりに決勝進出を果たした大同も懸命に反撃を試みるが、本田GK橋本の好守に阻まれて点差を詰めることができない。結局着々とリードを広げた本田が12-3と大差で前半を折り返す。

後半に入り、大同も速攻で反撃するが、本田も立木らの活躍でリードをがっちり守り、中盤には逆に14点差とリードを広げて初優勝を確実なものとした。

得点	0	0	1	3	5	5	0	0	0	3	2	5	1
選手	高橋	藤立	福内	大梅	田平	山香	本田	木本	井木	村藤	塚基	口松	村西
得点	0	0	2	1	2	2	1	2	2	0	0	2	0
選手	大秋	内高	朝	名	宇末	佐阿	吉藤	村生	畑	取	岡	藤	萬
得点	0	0	2	1	2	2	1	2	2	0	0	2	0
選手	大秋	内高	朝	名	宇末	佐阿	吉藤	村生	畑	取	岡	藤	萬

メニューいろいろ

- 中国ファンド ●チャンス
- 公社債投信 ●株式投信
- 割引債 等

東洋証券

東洋証券 TOYO

■本店：〒103 東京都中央区日本橋1-20-5
■電話：03(3274)0211

第32回全日本実業団選手権(女子の部)

ジャスコ、感激の初優勝

第32回全日本実業団選手権女子の部は、5月17日から19日までの3日間、愛知県体育館に12チームが参加して開催された。

全日本メンバーの欠場問題等で波乱の続いた今大会だが、決勝戦はジャスコ対ブラザー工業という日本リーグ二部チーム同士の対戦となり、1点差でジャスコが逃げ切り、初優勝を遂げた。

1回戦

日立栃木 20	10 6	13 1
ブラザー工業 25	16 5	11 松下電工
オムロン 22	7 15 8 7	15 JUKI
ジャスコ 29	14 15 4 7	11 ムネカタ

2回戦

大崎電気 25	15 10	20 日立栃木
ブラザー工業 31	17 14 8 9	17 大和銀行
北国銀行 25	12 13 12 6	18 オムロン
ジャスコ 22	1 10 1 8 2 12	22 シャトレーゼ

準決勝

ブラザー工業 23	12 11 6 6	18 大崎電気
ジャスコ 20	12 8 6 13	19 北国銀行

順位決定戦

ソニ分 18	6 12 5 8	13 JUKI
ムネカタ 18	8 10 4 7	11 松下電工

順位決定2回戦

オムロン 18	12 6 6 6	12 日立栃木
シャトレーゼ 15	7 8 4 7	11 大和銀行

11位決定戦

JUKI 26	16 10 3 2	5 松下電工
---------	-----------------	----------

9位決定戦

ソニ分 22	9 13 6 5	11 ムネカタ
--------	----------------	-----------

7位決定戦

日立栃木 23	10 13 7 12	19 大和銀行
---------	------------------	-----------

5位決定戦

シャトレーゼ 19	9 10 7 8	15 オムロン
-----------	----------------	-----------

3位決定戦

決勝
大崎電気 21 9 | 12 | 9 | 10 19 北国銀行

ジャスコ 23 12 | 11 | 13 | 9 22 ブラザー工業

【戦評】日本リーグ二部勢同士、しかも同じ東海地区のライバル同士で互いに手の内を知りつくした相手だけに、1点を争う激しい決勝戦となった。

前半はジャスコの速攻が決まって優勢に展開、一時は11-6と5点のリードを奪う。しかし、ブラザーもじりじりと追い上げ、後半7分過ぎには遂に12-12と同点に追いつく。その後一進一退の展開を見せたが、最終ジャスコが先手をとった展開で、残り1分、ブラザーは1点差に迫ったが一步及ばなかった。

得点
0072210363000
本多木永栗田江藤斐木中好
岡喜荒末小野藤進甲高畑三
GK F P 審・川内藤合
林川井出島田井田澤永師村
ジャ谷 小長今東勝福川飯成徳土松
得点
004381500020
23 (5) PT (2) 22



決勝はジャスコ、ブラザーの対決に



日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)

タチカラ ミュムレス ボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れた
L・B・C中空製法です。



タチカラ株式会社

東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

●全日本女子ヨーロッパ遠征から帰国

1ヶ月間の遠征で多くの成果をあげる

オリンピック出場を旨として日本ハンドボール界にとって史上初ともいえる長期合宿を行なっている全日本女子チームが、5月20日から6月23日までの約1ヵ月間、ヨーロッパ遠征を行ない、ノルウェー、チェコスロバキア、オース

トリアで合宿、各地で数多くの試合を行なって多くの成果をあげて帰国した。

ここに遠征に参加した全日本女子チームのメンバーによるレポートをすべてご紹介するとともに、彼女たちに声援を送りたい。

ノルウェーにて

小池美由紀

1ヶ月間という長い遠征の始まりはノルウェーからでした。

1週間滞在して、その間に5ゲームほどしました。一応ノルウェーのナショナルチームだったのですが、向うはナショナルの年齢層が広く、私たちがゲームをしたのは20歳前後のメンバーでした。

対戦してまず感じるのには、パワーの違いで、ディフェンスをしていても弱い当たりだと引きずられたりふつとばされたり……という具合です。スピードという点ではあまりあるとは思わなかったのですが、とにかくパワーの差は感じました。

私たち日本チームの方は、コン

ビを組んでまだ日が浅いということもあったせいか、ミスが多かったように思います。だから、ゲームの内容的には勝っていても、大事なところでミスをしてしまい、それが負けにつながるということもありました。

5ゲームを通して、(うち、1ゲームは男子のジュニアチーム)はじめのうちはやはりコンビもなかなか合わずミスも多かったのですが、ゲームを重ねていくうちに、少しずつではありますがチームが一つになっていったような気がします。現に、ノルウェーでの最終戦では、コートの中もベンチも一体となったせいか、勝利をものにする事ができました。成績の方は1勝4敗でしたが、チームのムードも良く、チーム状態も上向き

だったので、ノルウェーではまずまずだったと思います。

その他に感じたことは、どんなゲームでも観客が多いということです。やはり見てくれる人がいればやりがいもあるだろうし、とてもうらやましく思いました。いいプレーをすれば敵味方関係なく拍手してくれるし、ああいう中でゲームができたのは幸せだと思えました。

1ヶ月の遠征を振り返って、はじめに比べるとずいぶんとコンビも合ってきたし、チームのムードもいい状態で終えることができた。アジア予選まであと2ヶ月弱となりました。今のいい状態を保つと同時に、さらにチーム力をアップできるようにして、今回の遠征が無駄になることのないよう頑張りたいと思います。

市来 未央

1ヶ月間のヨーロッパ遠征で最初の国がノルウェーでした。ノルウェーのナショナルチームとは5ゲーム行なったのですが、そのうちの1ゲームは男子のジュニアチームとしました。メンバーは全員

私たちよりも若かったので驚きました。ゲームではまず体格、パワー、そして何よりもレフエリーの違いにとまどい、なかなか自分たちのペースをつかむことができませんでした。体格やパワーの差は仕方がないのですが、レフエリーは日本と違いとても攻撃を重視するので、ディフェンスをしていても自分たちが勝手に判断してしまい相手に押し込まれてしまうというゲームが多々ありました。相手チームはレフエリーを利用するのが上手く、小さな反則でも大きな反則にみえるようなプレーをしていたので私たちもレフエリーの癖を早く知ってそれをうまく利用できるプレーをして行きたいと思います。

3戦目ぐらいまではコンビもあり合わなくて相手のペースでゲームが進み、得点はあまり開かなかったのですが、勝つことができました。

ディフェンスは一線と1・5体形を使っていますが、ゲームでは1・5を使うことが割合として多く、ロングシュートに対するつめがうまく行き、1・5が正解だと感じました。攻撃面では、フォーメーションを何度か試してみたの

技を制す！ スポーツスピリット

体育施設の総合メーカー



株式会社 小川長春館

- 日本ハンドボール協会検定工場
- 国際体操連盟公式競技認定品製造工場
- 日本体操協会器械器具検定工場
- 国際体操連盟公式競技認定品製造工場

本社工場/広島県福山市引野町5丁目4番23号 7121 電話(0849)41-0230(代)
大阪支店/大阪府八尾市若林町1丁目70-1 7581 電話(0729)48-3580(代)
営業所/東北営業所 名古屋営業所 福岡営業所

ですが、なかなか個々のタイム
ングなどが合わず、ゲームにうまく
使えたものとまたそうでないもの
もありました。

初歩的なことだけれどいかに相
手のディフェンス体形を素早く読
み取り、対応して行くことが課題
になりました。しかし、4戦目に
勝てた時は本当に嬉しかったです。
遠征に来て初めての勝ち星だった
し、やっとう歯車が合って来た感
じました。

アジア選手権で戦うチームは、
また、ヨーロッパチームとはタイ
プが違うと思いますが、ゲームに
勝とうという気持ちは同じだと思
うので、この経験は無駄にしない
ためにもチーム一丸となって行き
たいと思います。

松澤祐子

全日本女子ハンドボールの長期
合宿が、4月から始まりました。
これはハンドボール界初の試みだ
ということで、期待と不安があつ
たが、1ヶ月半のトレーニングを
終え、ヨーロッパ遠征に行くこ
になりました。

4月からの合宿で、陸上トレ
ニング、ウエイトトレーニングな
どの体力的トレーニングも積んで
ヨーロッパでどんな試合が出来る
のか期待して、5月20日に成田空
港を出発しました。
最初のトレーニング地となった

のは、ノルウェーでした。ノルウ
エーでの合宿予定は、1週間とい
うことで、私たちにとっては短い
ようで長いヨーロッパでの合宿生
活が始まったのでした。

私たちが泊まった所は、国際的
交流のある学校で、近くには湖が
あり、木々もたくさん茂り、静か
で環境的には最高の場所でした。
地球上で北極寄りの国なのでまだ
寒く、それに私としては初体験の
白夜でした。朝4時ぐらいから夜
11時ぐらいまで太陽が出ていて明
るく、時間感覚がなくなっていま
いそうでした。

次の日からトレーニングが始ま
りました。近くの体育館でのトレ
ニングで、少し時差ボケという
こともありましたが、ひと汗流し
ました。

体育館は、ハンドボールコート
ぎりぎりのスペースで、狭く感じ
ましたが、ハンドボール専用に出
来ているし、町の学校もコートが
2面あったりと、すごくハンドボ
ールが盛んな町だと感じました。
試合会場も観衆がたくさんで、選
手と客が一体となってゲームを盛
り上げていました。アジア大会は、
日本での開催なので、こんなふう
に客と一体になって、勝ちゲーム
になるようにしたいと思いました。

ノルウェーでは、ナショナルチ
ームと4ゲームしたのですが、最
初の3ゲームは自分たちのペース
がつかめずに相手のパワーとスピ

ードに負け、パスやキャッチなど
の初歩的なミスも目立ち、負けてし
まいました。長身の人のロングシ
ュートやポストのパワーで持って
行かれるシュートや、ノルウェー
のセンターなどは自分と同じくら
いの身長があっても、ヨーロッパ
のハンドボールに引けを取らない
スピードあるカットインプレーな
どで得点していました。

4ゲーム目は、次第に相手チ
ームの特徴もわかって来て、ディフ
ェンスの動きも良くなり、速攻で
の得点も多くなりました。前日の
ゲームの攻撃よりセットプレーの
ミスも少なく、ゲームは24-17で
終り、初金星となりました。

ヨーロッパ最初の合宿地でのス
タートは良かったといえず、つま
づいてしまいました。これから
少しずつ日本の波に乗って行ける
のではないかと思います。やはり、
最終目的はアジア大会で韓国、中
国を破ることに、自分たちの力を
出し切って、このヨーロッパでの合
宿の成果が出るよう頑張りたいと
思います。

夔川亜由美

全日本の長期合宿中、ヨーロッ
パ遠征に1ヶ月も行くということ
は今回が初めてでした。5月21日
に出発して、まず最初に入ったの
はノルウェーで、ここでは約1週
間という予定でした。ノルウェー

は日本の7月半、遅れの時差があり、
また日本の5月とは違ってまだ肌
寒いという気候でした。そして、ど
うしても慣れなかったことが、「白
夜」で、夜は12時ごろやっと暗く
なり、朝は4時にはもう明るくな
っているということでした。最初
はやはり、食事の方にも慣れず、
こういう日本とはかなり違った状
況の中で、これまで4月からの合
宿でやってきた私たちのハンドボ
ールがどれだけやれるか、不安い
っぱいでした。

ノルウェーでは、ナショナルチ
ームと4試合やって来ました。最
初のゲームは、不安に思っていた
とおり、自分たちのプレーがなか
なか出せず、また、ヨーロッパ人
の大きさやパワーなどに押されて、
ディフェンスの上から何本もロン
グシュートを打たれたり、大きい
ポストを守り切れず、押し込まれ
たりで、簡単に得点されてしまっ
たという試合が続いてしまいました。
しかし、4試合目にもなるのと、
私たちが相手の特徴をだいたい知
り、ロングシュートに対する早目につ
めるディフェンスや、大きいポ
ストにボールが入っては、なかなか
押さえるのは難しいということ、
ポストにボールが入る前に、その
パスをカットするということ在意
識してやりました。その点がだい
ぶ守れるようになり、その守りか
ら、速攻に出て得点することが出
来たし、速攻では、今までやって



Mind & Technology

JUKIは、衣文化を創造します。

JUKI

JUKI 株式会社 〒182 東京都調布市国領町8-2-1 電話：(03)3480-1111(代)

工業用マシン ● アパレルシステム機器 ● 皮革厚物機器 ● 家庭用マシン ● 家電製品 ● 家庭用品 ● 電子産業装置 ● 電子機器

来た展開も決まり始め、初めて、私たちのペースで試合が出来ました。そして、このノルウェーでの最終戦では、勝つことが出来ました。

その後、チェコ、オーストリア

チェコスロバキアにて

武津優子

23日間と遠征で一番長く滞在したチェコスロバキア。ここでは、国内転戦をして5ヶ所を巡り、数々のチームと戦ってきました。

何処に行っても感じたのは、観客のエキサイティングな応援にしろ、スポーツ施設にしろ、ハンドボール熱が高いということでした。最初に入ったオリンピックスポーツセンターでは、各国のナショナルチームや強豪チームが合宿をやり、そのためのトレーニング器具、サウナ、マッサージ等のアフターケアの施設が整っていて、日本ではまだそこまでのスポーツセンターが残念ながら無いようです。試合の方は、ノルウェーではヨーロッパの選手との体格差、レフエリーに対しての戸惑いで、1勝は挙げられたものの押され押されの結果に終わりましたが、チェコでは10戦中7勝3敗(そのうち男子5と1試合)で、この戦績は大きな自信になったと思います。

へと遠征は、まだまだ続いたんですが、このノルウェーでの勝った試合は、私たちにあって、ひとつの自信になったし、まだまだ少しだけど、自分たちの試合でのリズムもつかめたと思います。

対戦したチームは、選手は17歳のエースから子連れのママさんハンドボーラーまでいて、層の厚さを感じました。パワフルな重量ポストが特に印象深く、デیفエンスでもポストを守るのに苦労しました。

長期合宿を始めて1ヶ月余でヨーロッパに乗り込んだわけですが、攻撃でも防御でも、まだコンビネーションが取れずにぎくしゃくしていた部分が多々ありました。

それが、チェコで試合、練習を重ねていくに従って、コンビも上手に噛み合ってきて、欲しい時に点が取れる、防御でも粘れるようになり、速攻につなげる等、頭書の目標にしていたハンドボールが次第に自分たちのものになってきたのを感じました。

とはいっても、課題はありますが、勝った負けたといった戦績以外での成果が大きく挙げられたと思います。

1ヶ月のヨーロッパ遠征を終え、長期合宿に入って3ヶ月が過ぎ、本戦まであと2ヶ月とよりました。

大きな目標を果たすためにも、今回の遠征で勉強出来たことを十分に生かしてがんばっていききたいと思っています。

西村朋子

約1週間のノルウェーでのトレーニングを終え、いよいよ長期滞在予定のチェコスロバキアに入りました。

空港は少し華やかさも消え淡々とした雰囲気。念入りな入国チェックを済ませた後、バスでニーンベルグにあるオリンピックスポーツセンターに向かいました。緑に囲まれた総合スポーツセンターで、あらゆるスポーツ施設があり、バスケット、陸上をはじめ各国のナショナルチームが独自にトレーニングに励んでいました。偶然にも着いた2日後に、プラハで日本という全日本総合のようなチェコのナンバーワンを決める「スラビア・プラハ対デユスロ・シヤラ」のファイナルゲームがあるということとでゲーム観戦。まず会場の異様な盛り上がりには驚いて、圧倒されてしまいました。それほど広くはない会場でしたが超満員で、両チームの応援合戦のためアップの時から隣りとも十分に話ができないほど……大阪出身の私としては、思わず阪神ファンののりを思い出すくらいの熱狂でした。

ゲームも1点を争う白熱戦で、

結局は先攻逃げ切りの形でスラビア・プラハの勝利に終わりました。ゲーム観戦後、この両チーム共に全日本とゲームが組まれているということを知り、血が騒ぐ中、強烈な刺激を受けていよいよチェコでの本格的トレーニングがスタートしました。

そして第1戦目、二部1位のスパルタ・プラハに前半は競り合ったものの、速攻などで一気に振り払ってまずは白星。その後はチェコの優勝チーム、スラビア・プラハと4ゲームのスケジュール。今までのチームに比べると速攻がかなり速く「パワーとスピード」を兼ね備えたチームというのがまず第一の印象でした。ラストの4ゲーム目はアップを終えてユニフォームに着替え、いざ出陣！とフロアに出たものの、待ちうけていたのは男子チームというハプニングもありました。

結局、女子とは3ゲーム中2勝……スピードのまま超ロングシュートを打たれたり、強引に押し込まれる場面もありましたが、デیفエンスで粘ることや速攻やコンビによる得点方法など、ワンゲームごとに習得できたとても意味のあるゲームだったと思います。

10日間のオリンピックスポーツセンターを後に何泊かずつの予定でそれぞれの地元チーム、「ゾラ」と「ツリン」とゲームをしました。今まではつとスラビア・プ

ねばりは頑張り 気力は体力

医薬品



キョーレオピン

医薬品



レオピンファイブ

効能・効果

- 滋養強壮 ●虚弱体質
- 肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害
- 発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社

- ワフナガ
- 札幌 011(747) 2166 ●東京 03(3293) 3351 ●荏碓 052(971) 5901
- 大阪 06(458) 8901 ●広島 082(264) 4116 ●福岡 092(481) 7382

●全日本女子ヨーロッパ遠征報告

ラハとゲームをして来たせいか、全く違うパス回しのテンポにリズムがなかなか乗れなかったこともありましたが、それぞれに白星をあげ、いよいよチエコでの第二のポイントともいえる、準優勝チームの待つシヤラへと向かいました。宿舎は緑の多い静かでもゆつたりしたところ。近くにはケシの花も咲きサウナやプール、マツサージもある心身共にリラックスできる場所でした。そこで私たちは16日のメインゲームに目標において日マトレーニングに励み、いよいよラストゲーム。広い観客席を持つ会場は、いつの間にか人でいっぱいでした。前半を同点で終えた時は「Japan」コールも出だす1点を争う展開となりましたが、最後に2点差で振り切れ黒星という結果となりました。攻撃、ディフェンスとも自分たちの今できている所はより親密に、足りない所は徹底的に練習できたシヤラでの5日間はとても貴重な時間だったと思います。

ゲームを終えた中で全体的に審判の笛の違いに戸惑ったりもしましたが、すべてがとてつもない勉強になったと思います。

5月27日、ノルウェーを出てチエコスロバキアへと移動した。チエコスロバキアは共産国で、古城を中心とした町並が続いた落ち着いた雰囲気でした。

私たちが宿泊したところは、各国から集まった色んな競技のオリンピック選手が、そこでハードスケジュールをこなし、成果をあげているところでした。

ここで私たちは、12日間を過ごし5試合を行いました。試合を重ねていくたびに、チーム、個人にも課題が出て来て、それに向けて練習を積んでいきました。ヨーロッパのハンドボールとアジアのハンドボールとは、異なることが多く、ロング、ポスト、サイド、ゴールキーパーとそれぞれポジションで、研究することがたくさんあり、本当に毎日考えさせられました。どういったプレーが通用するのか、どういうプレーが通用しないかなど、身にしみて勉強になりました。

6月8日にオリンピックスポートセンターを後にして、チエコスロバキアの各町を周りながら、試合を行って行きました。

川島ゆう子

その中で、6月11日から17日までSALAという町のクラブチームとゲームを行ったのですが、このチームにはベテランが多く、中でもポストプレーヤーの動きは日本人にはない独特のプレーをしていた。体が大きいのはもちろん、ボールをもらうてからの動きが速く、ディフェンスに体をあずけ、ゴールまでねじこんでくる。ロング、サイドシュートも打点が違う日本人を相手にしてはわからないことです。

審判の笛の傾向も大きく違い、それを早く読みとることも課題としてありました。とにかくヨーロッパのパワーハンドボールに体当たりできてよかったです。

4月から合宿に入り、1ヶ月間のヨーロッパ遠征を経て、チームの信頼感も深まり、コンビネーションもあつてきました。この経験を生かして自分たちの一番の目的を達成させるように頑張りたいと思います。

松田史佳

5月27日、戦績がいまひとつ思わしくなかったノルウェーを後にし、私たちはチエコスロバキアに移動した。

そこで私たちが宿泊した「オリンピックスポートセンター」は、素晴らしい設備の整った施設であり、サウナはもちろん、プール、

マツサージ、ビデオ室、さらにはビリヤード、Barまでもが完備されていた。各国の各種目の選手たちは、そこで熱心にトレーニングに励んでいた。おそらく、日本では考えられないスポーツ施設で、スケールの違いに驚いた。

また、現地のハンドボール協会の方々が温かく迎えて下さり、3週間あまりのチエコの滞在、その後のおストーリーまでありとあらゆる面でお世話して下さいたことはわすれられない。

私たちは、そのスポーツセンターでトレーニングに入り、30日から試合に臨んだ。

チエコでの1戦目、相手は二部の1位のレベルのチームであったが、白星をあげることが出来た。

チエコの1位のスラビア・プラハとの試合では、逆転で勝利をおさめることができた。この頃から相手選手のパワーやレフエリーの笛にも慣れ、ディフェンスにも粘りが出てきたし、コンビネーションもうまくあつてきた。

6月8日からはチエコ国内の転戦に入り、四つの街を周って5試合を行った。戦績は4勝1敗。戦績もゲームの内容もよかつたと思う。試合を通して感じたことは、日本のハンドボールとの違いは、まず第一に選手の体格の差である。やはり、背は高いし、特にパワーフルなポストマンが印象に残った。ポストにパスが入れば、必ずとい

新しい時代を作ってゆくのは、新しいひらめき。そして、ひらめきを実現してくれる素材が求められます。常に新しい技術で新しい夢をかなえる素材をお届けしてきた日新製鋼。これからも時代に応える新しい素材をみつめてゆきます。



明日の素材をみつめる
日新製鋼
東京都千代田区丸の内3-4-1
(新国際ビル) ☎03-3126-5511 〒100

っていいほどベナルティ得点に
つなげていた。

しかし、そのパスも、試合を重
ねるたびに少しずつではあるが守
れていたと思う。あまりの強引な
ポストプレイヤーのため、力負け
し、警告、退場といった場面も多
々あった。

フェイント力は、やはり韓国や
日本の方がスピードがあり、する
どく、よくきれると思いました。

細かいプレーは、アジアのハン
ドボールが優れていると思う。

とにかく、ハンドボールはチェ
コでは非常にメジャーなスポーツ
で、レベルも高い。小学生くらい
から始めている人が多いし、ハン
ドボール人口もたいへん多い。観
客の応援も、すごく熱かった。
日本ではまだまだマイナーなス
ポーツといわれているが、やはり
8月のアジア選手権大会に勝って
オリンピックに出場し、メジャ
ーなスポーツにしたいと思う。

村山みどり

5月20日から始まったヨーロッパ
遠征も最初の目的地であるノルウ
エーでの予定を無事に終え、27日
に第二の目的地であるチェコスロ
バキアに移動しました。

チェコスロバキアでは、首都で
あるプラハから40分ほど離れたニ
ーンベルグという町にあるナショ
ナルトレーニングセンターに行き

ました。

ここはテニスの一流プレーヤー
として有名なナブラチロワやレン
ドルが育てられた所だそうで、私
たちが滞在していた間も各国のナ
ショナルチームやジュニアチーム
が練習に励んでいました。敷地面
積はかなり広大でテニス、サッカ
ー、陸上をはじめとする多種目の
グラウンドが整備され、サウナや温
水プール、マッサージといった施
設も設置されており、選手にとつ
て最高の環境が整えられていまし
た。

28日にプラハで行われたチェコ
スロバキアの一部リーグの決勝戦
を見学しましたが、会場は超満員
その上観客は試合が始まる前から
異様なまでに盛り上がっていました。
試合の結果は、スラビア・プ
ラハがデュスロ・シヤラに3点差
で勝ち優勝しました。試合が終つ
ても観客が選手を取り囲んで
興奮がなかなか冷めやらぬ様子で
やはりヨーロッパはハンドボール
の本場なんだなとつくづく感心し
てしまいました。ここでは、スバ
ルタ・プラハ、スラビア・プラハ、
スラビア男子ジュニアと試合をし
ました。

いずれのチームもスピードとバ
ワーがあり、シュートの一本一本
に迫力を感じました。攻撃では、
高さを利用したロングシュート、
パワーあふれるポストシュートが
印象強く、その上ポスト・ゴール

ーは重量級の選手がほとんどで、
ディフェンスも守るのに苦勞して
いました。

6月8日にオロモウという町に
移動し3日間滞在して1試合しま
した。そして、11日に靴で有名な
町ツリーンで1試合して、今年の
一部リーグ2位のデュスロ・シヤ
ラのホームタウンであるシヤラに
向いました。シヤラでの宿舎は、
リハビリ施設のある療養所よう
な所でサウナやジェットバスなど
の設備がありました。1週間ほど
滞在して3試合ほど行い1勝2敗
という結果でした。デュスロ・シ
ヤラは、スラビア・プラハとの試
合を見学していたので、大体どん
なチームかわかっていたはずなの
に思っていた以上にスピードのあ
るチームでした。

オーストリアにて

木口ゆかり

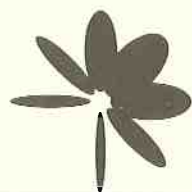
約1ヶ月にわたるヨーロッパ遠
征は、ノルウェー、チェコ、そし
て最後はオーストリアでした。オ
ーストリアでは、2試合ゲームが
組まれており、オーストリアでナ
ンバーワンのヒポバンクが相手に
した。私は、

す。

チェコスロバキアでは、17日に
国境近くの町で最後に1試合し、
全部で10試合して7勝3敗という
成績でした。今回のヨーロッパ遠
征で、ゴールキーパーからの視点
として感じたことは、ディフェン
ス面において一線と1-5の使い
分けができるようになり、ロング
シュートに対する壁の作り方も以
前より良くなってきたこと、また
ゲームがシューター状態になった時
にディフェンスがかなり粘れるよ
うになったことです。オフエン
ス面でもコンビネーションや速攻な
どの展開が良くなり、合宿の成果
が出てきたと思います。自分自身
としてはあまり満足のいくキーピ
ングが出来た試合がなかったのだ
ですが、今回の遠征で見たこと、感
じたことを日本に帰ってからの練
習にぜひ生かしていきたいと思
います。

「どんなチームなのかな」

と思っていました。ヒポバンク
を知っている先輩方に話を聞くと、
とにかくすごいといわれました。
私は少し緊張してヒポバンクとゲ
ームをする体育館にいきました。
壁に大きな写真がかけられてあり、ト
ロフィーを持っているものや、み
んなが並んで写っているもの、そ
の他にもいろいろなもの飾って



OSAKI

大崎電気工業株式会社

東京都品川区東五反田2-2-7 〒141

TEL.03(3443)7171 FAX.03(3447)5844

●全日本女子ヨーロッパ遠征報告

ありました。
「これが本当にみんながすごいというチームなんだ」
と私は感じました。

そして、試合の日、オーストリアに来て緒戦です。午前中は、ウィーンを観光しました。

アップ中にヒポバンクの人たちが目に入りました。日本人と違うと思ったところは、体の大きき、力の強さを感じました。でも日本は、スピードハンドボールで、私は、この遠征の数々の試合を見て、どのチームにも全日本は、スピード負けはしていないという気がしていました。試合が始まって、ヒポバンクの力強いロング、サイドシュートが決まると、全日本もロング、カットイン、サイド、速攻と全員の得点で、結果は全日本が勝ちました。次の日は、遠征最終日。そして試合も最後となりました。午前中は私たちが宿泊しているスポーツセンターで最後の練習をしました。今日も午後からの試合だったので、午前中に練習をしたのです。

いよいよ時間がせまってきました。みんなの気合いも入っていました。監督も、

「相手チームは、きのう全日本に敗れて今日はかんたんに勝たしてはもらえないぞ」

とみんなに、厳しい言葉をかけられました。

結果は、速攻、ポストシュート

などを確実に決めていた全日本が、30対22と2日連続で勝利を収めました。そして、1ヶ月間の遠征は終わったのでした。ケガ人も出なかったことだし、私にとって初めての全日本としての遠征は、とてもすばらしい経験になったと思います。そして、これから先輩がたのすばらしいプレーを見習っていきたいと思います。

谷本 泉

社会主義国のチェコスロバキアとオーストリアの国境をバスで越えて、6月18日オーストリアへ入りました。チェコスロバキアと違って、こちらの方は社会経済が発展していて、街に入るとにぎわいを感じました。

今回の海外遠征は、全日本初の試みで、その中に自分が入れたことは、とても幸福なことだと思います。4月7日からチームを組んで、毎日練習してきました。その成果をためす絶好の機会でした。計画した多くの試合もあと2試合になりました。

オーストリアで対戦したチームは、ヒポバンクでした。このチームは、国から優秀なプレーヤーをよんで編成したチームだと聞いていました。体も大きく、スピード、パワーを兼ねていて、この遠征を締めくくるにはとてもよい相手

手だと思いました。

第1試合。相手はどんな人たちがいるのだろうか、胸を高らかに上げていました。ロングヒッターが一人いて、あとサイドがローリングに入ってくるといったよく動くチームでした。この試合で、そのロングヒッターに11得点されていたので、次の試合ではどれだけその人をおさえたいかを課題にされました。自分には、速攻のはやい飛びだしが要求されました。

第2試合。デیفエンスがうまくかみ合ったようで、いくつものシュートカットがありました。速攻も、単独もあつたし、リバウンドボールからの速攻、ハーフ速攻といういろいろなパターンが見られました。個人の特徴を生かしたプレーがでていたし、ゴールまでのスピードがあつたように思いました。試合を終えたとき、いろいろな課題がでてきましたが、勝つ喜びをすこく感じました。この気持ちをお大切にしていきたいです。

この遠征で私は、確かに何か手ごたえを得たと思います。試合の中で辛抱しなければならぬ時の攻防、いくつかのコンビプレー、また自分自身では、弱かった精神面が少し強くなりました。でもなによりも、チームがこの1ヶ月間でさらにまとまったように一層感じました。大会まであと2ヶ月。私には、まだまだやらなければならないこ

とがたくさありまます。サイドマンとして、どれだけ速攻にでれるか、一対一で相手を破れるか、守れるか、細かい部分までやり残すことのないようにしていきたいです。

比嘉晴美

1ヶ月のヨーロッパ遠征でノルウェー1週間弱、チェコスロバキアを3週間余、そして最終地のオーストリアで3日間と各地を周った。

オーストリアでは、ハンドボールで名の知られている東ドイツ、ユーゴスラビアなどから名選手を集め、昨年のソウルで行われた世界選手権で4位に入り、バルセロナ・オリンピックの出場権を手に行っているヒポバンクと2試合を行った。

1試合目は、今まで試合をしてきたチームの中でもパワー、スピード、技術の全体的な面で上回るハンドボールに少しためらっていた部分と、長距離移動のせいかな、前半みんなの足が重く動いていなかったため、外人特有のパワーハンドに押され、得点を許していたが、中盤から速攻が出だして波のり、30-25で白星をあげた。
2試合目は、1試合目の時に右45度の11番の選手に、ロングでかなり得点をされていたが、この試合で前半の中盤からシュートがおり、もしろいようにデیفエンスの手

三景グループは、企業の使命感と創造の精神を礎に、
不断の歩みを続けています。



Sunline

株式会社 三景

株式会社 三景

服装文化の発展とともに

本社 ☎(03)3221-8811 〒101 東京都千代田区麹町4-7-2 サンライン第7ビル

に当たりだし、それからの速攻で得点を積み重ね、相手のスキをついたカットイン、ロングシュートなどのコンビが決まり、31・25と2試合目も白星でかざることができました。

試合の反省は、大きなポストの人に対するディフェンスのしかたや、逆速攻の滞りなど課題は残っており、特に退場者が多いのは、遠征中に目立った。

しかし、今までの試合の中であった、得点の得られない時間（ブラックホール）があまりなくなりました。得られなくてもディフェンスで粘れることができるようになったこと、一番良かったのは、最終戦を白星でかざることができたことだと思います。

それから、私がオーストリアに来て一番印象に残っているのは、スポーツ施設のすごさで、私たちの泊まった宿舎は、オリンピック養成学校で、いろいろな地方から選手を集めて養成しているところだ。

体育館、テニスコート、サッカー場など整った施設は、今の日本のどこを探してもありません。その国のスポーツのレベルの高さ、層の厚さや取り組み方に感動しました。

日本も、もっとオーストリアみたいな施設が増えると、スポーツもさらに向上するのではないのでしょうか？

遠征を終えて

梅原直美

この遠征の日程は5月20日に成田空港を出発して約1ヶ月間の予定で帰国は6月23日でした。

私が出発前に感じていたことは、長い期間全日本チームに参加させていたでいて対外相手では今一歩、力が及ばなかったり、または大差で負けてしまったりとさんざんな結果でした。今回も多少は不安がありました。けれど4月からの合宿が始まってからのチームの状態を考えてみれば、今まで私が見てプレーしてきた全日本チームとは何か違っていると思います。でも何が違っているのかは、遠征が終わるまで答えはわかりませんでした。

さて、ヨーロッパの転戦についてですが、ノルウェーに行き4試合をナショナルチームとやり、始めは相手の特長やいろいろとわからずにプレーをしていましたが、回を重ねるごとに慣れてきて、相手は大きく歩幅が広いので、私たちが国内で戦って来たようにしていればすぐにカットされて逆速攻になつたり、ディフェンスでも前で守らなければ押し込まれてシュートという状態でしたが、最後にやっと私たちがらしい攻撃と日本に

いる間、ディフェンス練習を何度も繰り返し続けて来た結果が出て来たと思うし、一番良い形で勝った試合だったと私は思いました。その他にチェコから始まりオーストリアと続きますが、全体的に見て今までの試合を通してわかったことは、前回は接戦でも後半に入るとペースダウンして最後には得点が離れていたりということが多くありました。でも今のチームは途中まではリードされていても追いついて行けたり接戦の末勝つたりというケースがかなりありました。

また、得点の取り方でも1試合必ずといって良いほど23点以上を取らず、今回では25点を目標にといわれていました。試合をしていくうちに25点から30点を持続して取るようになり、一つの目標にやるとたどり着くことが出来たなと思えました。そして一番強いといわれていたヒポバンクチームにも取ることが出来て安心しました。この遠征でチームに大きかったことは、ほとんど毎日試合があり、また練習があつたり、買い物をしたあと試合をしたりとすごくハードな毎日でしたが、苦しい状態の中でも良い結果が出せたのは、精神的、肉体的に少しずつでも強くなり、耐えられる力がついて来てい

るのかなと思います。

最後になりますが、残された時間は限られてきているので、この遠征で覚えたことを見て来たことを無駄にせず、これから始まる国内サーキットから昇り調子になって本番の予選に臨めるように努力し、是非バルセロナへのキップが取れるように頑張りたいと思います。

宗片美智子

今回の遠征では、ノルウェー、チェコスロバキア、オーストリアをまわりました。

ノルウェーではあまりいい成績を残せなかったものの、チェコスロバキア、オーストリアと進むうちに精神的な面や、チームワークがとよ良くなってきたと思います。

ノルウェーでの日程を終えた時点では、オフェンスでもディフェンスでも課題とされるべき点がいくつもありません。

ディフェンス面では、ポストに対する守りと警告、退場が多いこと、オフェンスでは、コンビプレーでの小さなミスとシュートミスなどでした。しかし、チェコスロバキアに入る頃には、ディフェンスでは、警告、退場はまだ少し多いものの、攻撃に対する壁が作れるようになってきました。

オフェンスでは、少しずつミスが少なくなり始め、コンビプレー

くらし、ひろげるジャスコのカード

会員募集中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。

ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。



- お支払いもいろいろ
- 月々のお支払いがラクな
リボルビング払い
 - 手数料なしのおトクな
一回払い
 - お求めはいま、お支払いは
ボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンター又は、販売員におたず
ねください。



が出来るようになったことと共に、全体的な攻撃にも幅が出てきました。

最後のオーストリアでは、オリンピックセンターに宿泊しました。いろいろな設備があり、すみずみまで管理が行き届いた感じで、宿泊した部屋もとても清潔感があり、一見ホテルのような雰囲気がありました。

ヒポバンクの体育館に行った時にも思いましたが、やはり、医療や競技の設備がいろいろと揃っていて、ヨーロッパの国々では、国全体でスポーツを盛り上げて行っているのだと思いました。

ヒポバンクとのゲームでは、それまでのゲームがよい教訓となり、自分たちの長所を作かしたととてもいいゲームができました。

今回の遠征では、速攻を中心とした攻撃とキーパーを含めたディフェンスのより一層のレベルアップと何よりチームワークがアップできました。

上村多恵子

今回の遠征は、私たちの武者修業ということで、タイトルがかかった遠征ではなかったので、気分的には楽でしたが、1ヶ月の長期滞在にかなり不安もあり、今回自分たちのレベルはヨーロッパでどれだけ通用するのかの不安も重なりあまりいい状態で出発してはい

ませんでした。実際に、体格もパワーもスピードもはるかに違う欧米人に対して通常10勝5敗の成績は結構よかったですのではないかと思っています。はじめの方のマッチ戦では、試合慣れしていなかったせいもあつたのか、スピードに押され、退場者も多く、まともに6対6で戦った時間はほとんどなかったのではと思うほどで、他に国内で通用するプレーもスツとボールをカットされてしまつたりで、全く自分たちのハンドボールをやつてませんでした。いくつか試合を重ねるうちに、チームの欠点も少しずつカバーできるようになり、大型選手に対しての守りや攻めも、大分対応できるようになりました。最終のヒポバンク戦では2戦連勝するというほど、チームが盛り上がっていました。

この遠征の自分が感じたチームの収穫を一つあげてみると、ゲーム中に、5、6点相手に点を離されても、それを巻き返す粘り強さを身につけたことです。今までだつたら、それほど点が離れると諦めが先に出ていましたが、最近では強い精神力がついたのか、全員が粘りのあるプレーに結びつけるようになりました。

自分自身の反省する点も、勉強してきたこともたくさんありますが、まずその欠点を一つずつ克服して、チームにプラスになるようもつていき、アジア選手権では

この遠征で得たものをプラスしながら、がんばつてチームをもつと盛り上げていこうと思つています。

小野寺かおる

5月20日から6月22日までの約1ヶ月間のヨーロッパ遠征、私にとつて初めての体験でびつくりすることばかりでした。日本へ帰つて来てみると、あつという間の1ヶ月間だつたけどノルウェーに着いた頃は、気候もかなり寒く乾燥していたため、練習中すぐのどが乾いたりとなかなか体が慣れなくて苦労しました。ノルウェーの選手といえば、ソウル・オリンピック銀メダルという印象が強く、そんな人たちと一緒に試合をするので、どんなプレーをするのか楽しみでした。私はこの遠征で初めて全日本のユニフォームを着て試合に出ましたが、いざコートに立つてみると、自分がものすごく小さく見えました。背や体はもちろん小さかつたけど、ノルウェーの選手の思い切りのいいプレーや自分のプレーに自信を持つてやつてい

る姿、そして大きな体から出るパワーに圧倒されました。

はじめの3試合はイージーミスが多くて、3点差で負けてしまいました。4試合目にはかなりミスも少なくなり、ノルウェー最後を勝ち星で飾ることが出来ました。チェコではまずオリンピックセンターという素晴らしい設備の整つた所で、各国からトップレベルの選手たちが毎日のように入れ替りに来てはトレーニングに励んでいました。私たちもグラウンドや体育館も使つてトレーニングをし、空いた時間では温水プールやサウナなどで体をケアし、試合をしました。チェコでは10試合ほどでしたが、どのチームも重量感あふれるポストプレーが多く、ノルウェーの選手よりもスピードがあるのがかなりディフェンスで悩まされました。

最終地オーストリアでは、チームもかなりまとまつてきて、攻撃の方では速攻を中心とする25点以上の攻撃も安定してきてディフェンスの方もポストの守り方も慣れてパスカットなども何本か出てきました。この1ヶ月間のヨーロッパ遠征はとても良い結果で終われたと思うし、個人個人も自信がついて帰つてこれたと思います。

日本でハンドボールといえば、あまり観客が入っている所を見たことがないのに対しこのヨーロッパ遠征では体育館がほとんど満員で、1点入るごとに自分がシュートを打つたような喜びよう、見えていて早く日本も選手と観客が一体となつて喜べるような試合が出来ればいいのになあーと思つました。私たちが広島の大会でオリンピックの出場権をとれたならもつと人気が出てくると思うし、その

合宿・国内外遠征から
ご家族の旅行まで
なんでも手配致します



明日の勝利の為に
私達が役立ちます

株式会社 エモック・エンタープライズ

〒105 東京都港区西新橋1-17-4 Y・Kビル1F

TEL: 03-3507-9777 FAX: 03-3507-9771

運輸大臣登録旅行代理店業 第6018

一般旅行業務取扱主任者 田川正明

ためにもがんばらなくてはいけないーと思いましたが。そしてヨーロッパのように設備の整ったスポーツセンターがいくつあったら、ハンドボールだけでなくいろいろなスポーツが盛んになると思いました。

尾苗裕美

今回のこの遠征合宿は、何かの大会に参加するという形のものでなく、強化目的のための遠征ではない。私自身こういう形の遠征に参加するのは初めてでしたし、他のメンバーやスタッフの方々も初めての体験でしたので、1ヶ月という期間の長さや、渡されたトレーニング内容等を見て、ものすごく不安と多少の期待を抱いて行ってきました。

ノルウェー6試合、チェコスロバキア10試合、オーストリア2試合の計18試合をこなしてきました。その中には2試合ほど男子チームとのゲームもあり、パワーの違いや、スピードの違いを見せつけられたこともありました。

行つてすぐの国(ノルウェー)では、やはり、周りの環境に慣れていないのと、ヨーロッパ人の体の大きさについていけずに連続試合で出来なかつた部分がある。しかし、試合練習ー試合練習と、試合で出来なかつた部分を次の練習でチェックしていくとい

うやり方を繰り返しているうちに、デイフェンス、オフフェンス共にコンビがとれてきたし、チームとしての戦術、戦法、守り方等がまとまってきて、何試合かは自分たちの試合が出来るようになってきました。

しかし、まだ試合をやっている最中に、相手の攻撃の中心はどの選手で、こういうパターンが多く、どういう攻めをしてくるから、こんな守り方にしようかという、相手に対する対応力がまだまだ足りない気がします。

たとえば、チェコでの試合以降は、ポストを使って攻めてくるパターンが多かったのにもかかわらず、やらせられた部分や逆速攻の守りの部分と、まだまだ課題は沢山あると思います。

最後に行つたオーストリアでのヒポバンクとの2試合は、この遠征で一番力のあるチームだったので、両方共、勝つたことは相手のメンバーが全部揃っていなかつたにしろ、遠征の締めくくりのゲームとして最高のものだったし、自分たちの自信にもなりました。

全体的にも、何点が離されても辛抱して食らいついていけるといふ面も出てきたし、まだまだ課題は沢山残っていますが、本当に成果が多かつた実りのある遠征合宿であつたと思います。

このチームのムードと自信を8月のアジア選手権に向けて、もつ

ともっと大きなものにして、本番に臨みたいと思います。

丸田純子

5月20日より全日本女子は、約1ヶ月ほどかけてノルウェー、チェコスロバキア、オーストリアの3ヶ国を回るヨーロッパ遠征に出発しました。海外での強化合宿というのは、私にとつても全日本女子にとつても初めてのことで期待と不安でドキドキしました。

日本でのトレーニング段階では、攻守共に不安材料ばかりだったため、ヨーロッパのスピードとパワーに互角に戦えるかなという不安感がありました。そして案の定ノルウェーでの試合は自分たちの弱い所、甘い面がすべて表面化されてしまいました。ヨーロッパのチームと戦うには、まずポストプレーを守らないと、ロング、サイド、カットインと、多彩にプレーされてしまうので、毎日のトレーニングはデイフェンス力の改善と自分たちのミスから得点されないよう凡ミス無くすということ、得点は25点以上を目標として練習してきました。

そして、ノルウェーでは4試合目にしてやっと勝つことができた。その後はチェコでの転戦、オーストリアとの試合もほぼ順調でした。でも私たちにはまだまだ改善する課題があるし、ヨーロッパとアジア

ではプレーのタイプも違う。そして1試合の間に波がありすぎると、2、3点あいて勝っている時に相手を突き放してしまふ得点力等、克服していかなければなりません。

こうして最初は不安だった海外遠征も、長い長いと思つていましたが意外と早く日が過ぎていき、日本に帰国したら梅雨の季節だと思つと、ヨーロッパのカラッととして、どんなに走つてもあまり汗をかかなくて気持ちの良い気候を離れるのはちょっと残念だと思つました。宿泊した所は、どの国でもかなりの田舎町だったり、農家や牧場の近くだったり、大きな池のある林のそばだったり、本当にのどかな所ばかりだったので、練習の疲れや緊張感をほぐすのに良い所だったと思つました。ずっと同行して下さつたIHFのムラツツさんは選手がリラックスできるように、プールやサウナ、マッサージ等の施設のある宿舎を探して下さつたようで、そのおかげだと思つています。

私たちが国外・国内を含め長期合宿をするにあたって、いろいろと気づかってくれる方がいたり、協力して下さつてくれる人がたくさんいるので、その期待に応えられるようにもう一度気を引きしめ直して、残り1ヶ月と少ししかない時間を全員で頑張つていこうと思つます。

スポーツマンのベストコンディションをお約束する、シャンピアホテル。

名古屋シャンピアホテル
 〒460 名古屋市中区錦2-20-5 代表 ☎052(203)5858
 ●交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分
 地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシーは名古屋駅より8分

大阪シャンピアホテル
 〒530 大阪市北区南扇町6-23 代表 ☎06(312)5151
 ●交通 新幹線新大阪駅からタクシーで10分
 大阪空港からタクシーで20分(阪神高速) 大阪駅から馬場まで徒歩12分

■料金(税込)		■料金(税込)	
シングルA	7,620円	シングルA	7,410円
シングルB	8,240円	シングルB	7,620円
ダブルツイン	14,420円	ダブル	9,880円
トリプル	18,020円	デラックスダブル	13,390円
和室	14,420円	ツイン	12,970円

■設備のご案内 ●ミーティングルーム ●全自動洗濯機・乾燥機設置 ●VHSビデオ設置
 ●赤坂シャンピアホテル ●青山シャンピアホテル ●防府シャンピアホテル ●姉妹ホテル KOLON HOTEL 韓国、慶州(キョンジュ) 東京事務所(03)386-7571

もっと大きな声で 夢を語りあいたいな

夢を語るときの瞳は、
いつもキラキラ輝いています。
夢を、未来を、カタチに変える、
そんな新時代への冒険心を
大同特殊鋼は大切にしたいと思います。
夢を語りあいたい……あなたと。

“With You”



本社 〒460 名古屋市中区錦1-11-18 (興銀ビル)
TEL (052) 201-5111
支社 東京 / 支店 大阪



スーパーシュートを見せてほしい。

踏み付け部エッジの傾斜が、スパイラルソールが、そしてαゲルが、果敢な攻撃を可能にする。



品名 スカイハンド® ジャパンα-S 品番 THH 711

メーカー希望小売価格 ¥15,500 (消費税抜き)

カラー/●ホワイト×黒 レッド×マリンブルー ●ホワイト×黒 マリンブルー×レッド

サイズ/22.5-29.0cm



アシックスは
オリンピックキャンペーンの
オフィシャルスポンサーです。

asics
ATHLETIC SHOES

株式会社 アシックス

●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL (078) 303-2233(専用)・(078) 303-3333(大代表)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 3624-1814(専用)・(03) 3624-2221(大代表) ■☎は森アシックスの登録商標です。

城大	▼準決勝	城平	向陽	大谷	▼2回戦	久御山	▼Dゾーン1回戦	洛北	▼決勝	乙訓	洛北	▼準決勝	乙訓	洛星	堀川	洛北	▼2回戦	京都西	▼Cゾーン1回戦	東山	▼決勝	東山	▼準決勝	田辺	東山	東山	▼2回戦	田辺	桃山	▼Bゾーン1回戦	洛水	
16	16	24	31	15	15	15	15	16	25	25	22	18	19	19	20	27	11	26	14	14	24	31	16	22	16	22	16	22	16	12		
7	10	6	8	8	7	3	14	10	10	12	1	12	8	11	10	10	10	3	10	8	4	5	5	8	5	8	5	8	12			
平安	向陽	同志社	洛陽	嵯峨野	久御山	両洋	乙訓	洛星	堀川	洛西	南八幡	京都西	八幡	東山	田辺	山崎	日吉	城陽	宇治	桃山	成章	木津	東山	東山	東山	東山	東山	東山	東山	東山		
▼Aゾーン1回戦	桂	▼決勝	堀川	▼準決勝	西宇治	向陽	堀川	▼2回戦	北嵯峨	向陽	両洋	堀川	▼Bゾーン1回戦	京都西	洛星	▼決勝	京都西	▼準決勝	洛星	東山	京都学園	京都学園	▼2回戦	洛星	京都学園	京都学園	▼Aゾーン1回戦	大谷	▼決勝	洛水		
14	19	7	17	17	10	10	11	10	11	8	14	11	6	11	12	19	10	9	11	23	12	18	17	18	17	17	17	17	17			
5	9	5	6	12	7	1	8	8	9	7	1	10	3	6	5	4	6	8	2	0	7	6	5	6	6	6	6	6	6			
堀川	西宇治	向陽	北嵯峨	洛水	両洋	桃山	乙訓	東山	洛北	大谷	北嵯峨	洛星	東山	京都学園	山城	東山	平野	嵯峨野	木津	洛西	伏見	久御山	城山	城山	城山	城山	城山	城山	城山	城山		
▼決勝	北嵯峨	▼2回戦	西乙訓	北嵯峨	▼Dゾーン1回戦	洛北	▼決勝	明德商	洛北	▼2回戦	西宇治	明德商	南八幡	▼Cゾーン1回戦	向陽	▼決勝	城山	向陽	▼2回戦	乙訓	城山	北嵯峨	▼Bゾーン1回戦	東山	▼決勝	洛水	東山	▼2回戦	洛水	西山	洛水	
22	10	18	抽選	6	16	21	9	14	18	17	26	17	抽選	12	13	16	12	11	17	29	22	25	12	24	25	12	24	25	12	24		
2	9	5	6	4	9	8	4	3	5	2	10	10	12	10	6	8	7	9	8	7	3	8	5	8	5	8	5	8	5	8		
西乙訓	光華	桃山	日吉	精華	明德商	西宇治	南八幡	府立	田辺	洛東	城南	乙嵯峨	北嵯峨	城山	東山	東山	洛水	西山	洛水	洛水	鴨山	塔山	久御山	久御山	久御山	久御山	久御山	久御山	久御山	久御山		
(島根)	(岡山)	総社	(鳥取)	境港	(岡山)	東岡山	(山口)	▼1回戦	▼1回戦	か	(5月10日)	▼42回中国高校選手権	中国	向陽	向陽	京都女	向陽	東山	西山	京都女	▼2回戦	向陽	乙訓	北嵯峨	▼1回戦	乙訓	北嵯峨	▼1回戦	乙訓	北嵯峨	桂	
22	13	17	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
(島取)	(広島)	修道	(山口)	岩国	(島根)	松江	(鳥取)	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境	境

A4版84ページ・カラーページにスーパーショット満載!

月刊誌 スポーツイベントハンドボール

毎月20日全国書店にて発売中!

1冊¥600 年間購読(1年間12冊・¥7,200/半年間6冊・¥3,600)

(株)スポーツイベント 〒101 東京都千代田区神田小川町1-9 川上ビル3F ☎03-294-5231(代)

平成3年度

第1回指導方法委員会議事録

〔日時〕平成3年6月12日(土)
17時30分～19時15分

〔場所〕日本ハンドボール協会事務局

〔出席者〕本田娟一、大西武三、平岡秀雄、村松 誠、飯田信行、青木宏治、清水口真澄、岡本研二、江成元伸、笹倉清則、芝 重治、清水宣雄、杉森弘幸

▼議題1 ハンドボール教本について

6月29～30日、日本女子体育大学宿泊所において合宿検討会を行い、編集会議とすることとした。

▼議題2 アジア選手権大会のゲームデータ速報用のコンピュータを早急に購入することが提案され、了承された。

▼議題3 IHFTレナー、レ

フェリーシンポジウムに参加した平岡委員より報告があった。報告書を作成するために、翻訳の分

担は大西委員長に一任することとし、早急に作業にかかることとした。

▼議題4 本年度事業と予算の報告があった。

▼議題5 江成委員に平成3年度コーチンポジウムの開催の立案が要請された。

▼議題6 スポーツ指導員養成講習会が愛知県、山梨県で開催されたことが報告された。

▼議題7 公認指導者移行措置について

本田顧問より特別移行措置に関して、条件を満たしていない指導者についてはコーチからC級コーチに移行するのみとする旨の報告があり、了承された。

▼議題8 平成2年度C級コーチ養成講習会実施結果の報告

修了者の報告と欠席者の扱いを検討した。欠席者は保留とし、担当者が補講レポート、補習実習を課すことが了承された。

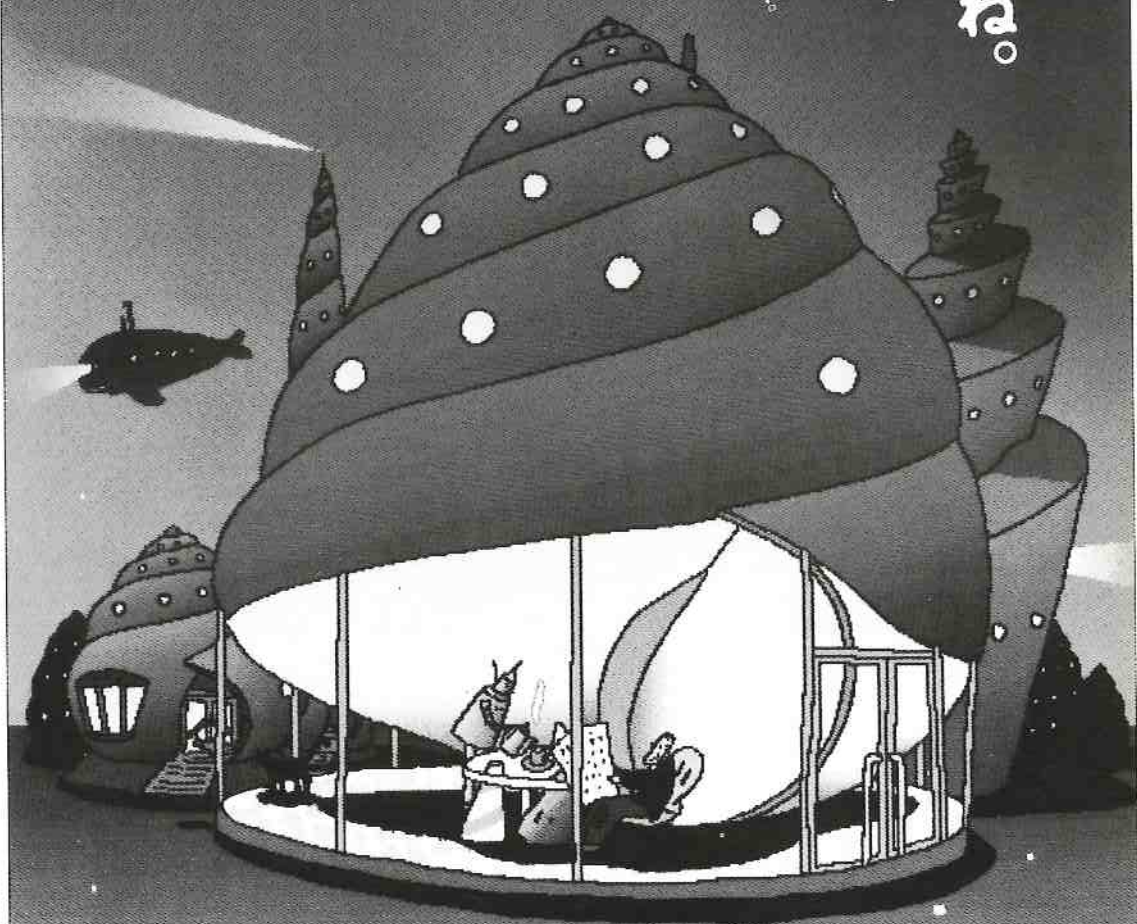
委員会だより

徳山 (山口)	尾道 (広島)	岩国工 (山口)	▼2回戦	山陽女 (広島)	▼2回戦
22 11	29 9	18 7		17 3	
呉昭和 (広島)	倉敷工 (岡山)	江津 (島根)		徳山商 (山口)	
29 9	18 7			38 4	
東岡山工	総社	松江東		松江市女 (島根)	
20 11	21 15	26 15		21 6	
境港工	徳山	尾道		華陵 (山口)	
21 15	19 13	20 10		22 3	
東岡山工	徳山	境港工		松江市女 (山口)	
20 11	20 13	20 10		21 6	
尾道	下松工	下松工		徳山商 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
岩国工	徳山	尾道		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10		山陽女 (山口)	
尾道	下松工	下松工		山陽女 (山口)	
19 13	20 10	20 10			

 **HITACHI**
— 技術の日立 —

技術にも、
体温があるんだね。

どこへ行つたら会えるという存在でもないのに
毎日、たくさんの便利や快適を送りつけている。
いないように見えて、ちゃんとそこにいる。
それが、私たちの技術の正体なんです。
みんなの幸せのためにがんばっています、よろしく。
これからも、ずっとずっと人と技術の
あたたかい関係を考えていきます。日立です。



人と技術の理想をめざす **Interface**
株式会社 日立製作所

© TAMIURA SHIGERU

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第三二〇号

昭和四十年六月七日 平成三年六月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成三年七月一日 発行

東京都渋谷区神宮前1-1-1 編集兼
電話 代表 三四八一-1336
振替 東京 六一五八三四八番 発行人 安藤純光

定価三百五十円
(年間購読料)
(三千三百円)